



2022年6月10日

株式会社 阿波銀行

株式会社南海の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社南海（代表取締役 木藤 誠治、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社南海
所在地	徳島県三好郡東みよし町中庄 1354 番地 1
代表者	木藤 誠治
業種	アスクルエージェント業
設立	1968 年 4 月 6 日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年6月10日



株式会社南海 代表取締役 木藤 誠治

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。 発生防止に向けて様々な取組みを行い、PCDAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	①方針・社内規程の見直し (サービス残業の禁止、残業代の適切な支払、法定年次有給休暇の確実な取得)	
			②2023年度までに方針・規程を見直し、全社員へ通知	
社会	ワークライフバランス	社員の豊かなライフスタイル実現のため、育児や介護と仕事を両立しやすい環境を目指します。	①(1)産前・産後休業・育児休業制度の整備 (2)介護休暇・介護復職支援制度の整備	
			②(1)産休・育休取得率100%の継続 (2)2023年度までに介護休暇を設ける	
環境・経済	移動・輸送における環境配慮の推進	社有車、従業員の移動、製品の輸送などにおいて、より環境に配慮した手段を選択します。	①ハイブリッドカー（HV）・電気自動車（EV）を導入し、既自家発電設備にて充電・走行	
			②2025年度までにHV車3台・EV車2台導入	
社会・経済	地元人材の活用	雇用を通じた地域振興のため、様々な地元人材の活用を推進します。	①(1)U・Iターン人材採用に向けた行政との連携 (2)シニア人材の採用継続	
			②(1)2025年度までにU・Iターン人材1名採用 (2)65歳以上のシニア採用を継続	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。